

# 第45回 定時株主総会 質疑応答概要

**Q. 2021年12月期の計画達成には中国の放電加工機の需要動向が大きく影響すると考えております。足元の中国の需要動向について教えてください。**

A. 中華圏は2020年12月期第4四半期に引き続き足元でも堅調を維持しており、全体的な需要環境も回復基調であると見込んでおります。昨今半導体等の部材調達リスクが報道されておりますが、当社としましては、しっかりと需要増に対応できるよう販売体制、生産体制を整備して、今期計画の必達を目指してまいります。

**Q. 営業利益に対する中国人民元の為替レートの変動による影響は？**

A. 中国では、現地生産、現地販売の体制をとっており、中国人民元建ての収益と費用が概ね相殺されるため、営業利益への影響は限定的です。また、海外生産・海外販売の比率も高く、他の通貨の影響を含めても全体的には為替レートの変動による大きな影響はございません。  
なお、売上高については、各通貨の円換算時に多少影響があるものと認識しております。

**Q. 中国リスクについての対策は？**

A. 中国は金型業界において最大のマーケットであり、当社としても中国の売上比率が高いため、地政学的リスク等の影響を大きく受けると認識しております。  
引き続き中国以外の地域でも安定した売上確保に努めるほか、部材のサプライチェーンの見直しを図るなど中国リスクの低減を図ってまいります。

**Q. 転換社債の転換状況を教えてください。また、資金手当の目処は？**

A. 2016年に発行した転換社債のうち実際に転換されたものは現時点では一部に留まっております。転換されない場合は2021年4月に償還予定ですが、償還には借入により調達した資金を充当するため、今のところ新たな転換社債等の発行は予定しておりません。